※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 216 |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高校生の美術Ⅱ」　（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

一年次に学んだ造形の基礎的な知識や技能を使い、二年次では「表現」について学びます。
世の中には言葉にならない感情や情景で溢れています。芸術とは、そんな言葉にならない感情や情景をいかなる言語をも超越して表現・伝達することのできる手段であり、美術はそれを造形によって行います。授業での制作をお通し「表現・伝達」を実践してもらいます。

## ２　学習の到達目標

（１）作品の制作を行うにあたり、美術に関するより発展した知識を身につけるとともに、制作を通し美しいものや文化的なものに対する興味や関心を深め、そこに良さを感じることができる資質を養う。（知識及び技能）
（２）１年次に学んだ基礎的な表現を活かして実践的な表現を行い、その過程で考え、工夫を凝らすことで美術的な考え方などを身につける。（思考力、判断力、表現力等）
（３）主体的に制作に取り組み、美術を愛好する精神を育み、日常的に美術文化に親しみ，心豊かな生活を創造していく態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意 図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値 観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 | 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好 する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊か な生活や社会を創造していく態度を養う。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学 | 単元 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 張り子 | 素材や技法の良さを感じ取り、それ等を作品制作に効果的に活かし、創作的な感覚を養う。 | a:アートやクラフトとは違ったところにある、民芸について理解を深めることができる。<br>b:素材や技法を活かしたものづくりをすることができる。<br>c:より良い作品のために試行錯誤をしながら粘り強く制作することができる。 | 作品<br>振り返りシート | 作品 | 作品<br>授業観察 |
| | 油彩画 | 油絵具を用いて作品制作を行い、そうして制作された作品に古今東西幅広く関心を持つ精神を育む。 | a:油彩画についての知識を深めることができる。<br>b:　油絵の具や道具の特性を理解し、それを活かした作品を制作することができる。<br>c:粘り強く制作することができる。 | 作品<br>振り返りシート | 作品 | 作品<br>授業観察 |
| 2学期 | インフォグラフィック | 情報を視覚化し、美しく画面上に構成する。 | a:デザインの役割について理解することができる。<br>b:意図に応じた効果的な配色や構成をすることができる。<br>c:粘り強く制作することができる。 | 作品<br>振り返りシート | 作品 | 作品<br>授業観察 |
| | モダンテクニック | 描く以外の平面的な技法を学び、表現の幅を広げる。 | a:ひとつひとつの技法が持つ特性やその効果を理解することができる。<br>b:技法の特性やその効果を活かした作品を制作することができる。<br>c:粘り強く制作することができる。 | 作品<br>振り返りシート | 作品 | 作品<br>授業観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ３学期 | リデザイン | 既に完成されたデザインをもとに、それを解釈し、それを再構成する。 | a:既に完成されたデザインをもう一度デザインしなおすことについての意義を理解することができる。<br>b: デザインに込められた意味や、何を意図してなされた配色や構成であるかを考えることができる。<br>c:粘り強く制作することができる。 | 作品<br>振り返りシート | 作品 | 作品<br>授業観察 |
| | | | a:<br>b:<br>c: | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度